《登録された背番号とは異なる番号でプレーしたときの処置》
(2017 年度新人試験的に実施、2018 年度総体より実施)

公式記録用紙に記載された背番号と異なる番号の選手が、コート上でプレーをして、それを確認したときには、以下のとおり処置をする。

1．【試合開始前】
正しい番号に直させる。ただし、そのことによって試合開始を遅らせれば、遅延の制裁を与える。

2．【スターティングラインアップ確認時】
正しい番号に直させ、遅延の制裁を与える。２セット目以降も、セット間にユニフォームを着替えるなど、スターティングラインアップ確認時だけ、間違っている場合は同様に扱う。

3．【試合開始後】
誤った選手がコートにいた間に得たそのチームの得点だけを取り消し、相手チームに１点とサービス権を与える。また誤った選手は競技コントロールエリアから退去させる。
セット終了後に発覚した場合は、そのセットは没収とする。
18 人登録の場合、選抜した 14 人以外の登録選手がプレーした場合も同様に扱う。

4．【試合終了後】
キャプテンが記録用紙にサインした後に発覚した場合はその試合は有効とする。

5．プレーをしていない選手の場合は、速やかに正しい番号に直させる。そのための時間は考慮しない。そのことによって試合を遅らせることがあれば、遅延の制裁を与える。正しい番号に直せないときには競技コントロールエリアから退去させる。
18 人登録の場合、選抜した 14 人以外の登録選手がプレーした場合も同様に扱う。

6．登録外の選手が、チーム構成員に含まれていた場合は、発見と同時に失格扱いとする。
ただし、それ以前の試合については問わないが、シードポイントは失効する。

7．18 人登録の中から 14 人を選抜した結果、キャプテンマークを有する者が外れた場合は、14 人の中からチームキャプテンを指名し、所定の位置にキャプテンマークを付けなければならない。

バレーボール６人制競技規則より
4.3.4　チームキャプテンは、胸部の番号の下に 8×2 ㎝のマークを付けなければならない。